

荒川区区政改革懇談会

第1回教育分科会議事要旨

【日時】

6月12日（月）18：30～20：30

【場所】

荒川区防災センター4階研修室

【次第】

ステップ1：教育長あいさつ

ステップ2：委員自己紹介・出席者自己紹介

ステップ3：座長選出

ステップ4：教育に関する情報収集

ステップ5：分科会での検討テーマについて考えよう

ステップ6：第2回分科会の進め方を考えよう

ステップ1 教育長あいさつ

川崎教育長から挨拶がなされた。

ステップ2 委員自己紹介・出席者自己紹介

出席委員から自己紹介がなされた。その後、教育委員会事務局出席者から自己紹介がなされた。

ステップ3 座長選出

委員の推薦により、櫻井善忠氏が座長に選出された。また、座長指名により、安部義治氏が副座長に選出された。

ステップ4 教育に関する情報収集

荒川区教育委員会・岡本庶務課長と田淵指導室長から事業概要説明がなされた。その後、質疑応答がなされた。

【意見交換】

- 他区では義務教育の5・4制を採用していると聞いたが、荒川区は6・3制を変えていく考えはあるのか。
(回答) →現在荒川区では教育ビジョンを検討しており、義務教育を充実させるため、その問題にも取り組んでいきたいと考えている。
- 小学校の児童・生徒数は7,352人で、中学校の生徒数は2,839人とあるが、学年当たりの小学校児童数と中学校生徒数の差はどうか。

(回答) →国立や私立の中学校に入学する場合があるが、特に荒川区から区外へ進学する生徒が多いわけではなく、区外へ通学する生徒数は 23 区の中では平均程度である。

- 学校自由選択制により、区外の学校への通学者は減った。また区内では地域外から入学する生徒が増加し、地域とのかかわりが少なくなってきた。最近、車に乗った不審者が児童に声をかけるなどの事件が多発しているが、地域外の子どものをどうするのか。また、入学式の祝辞の際に他校の部活動を誉めたりするのはどうかと思う。

(回答) →一つの学校を誉めたわけではなく、荒川区は全体的に部活動が盛んであり、荒川区の教育に関して自信を持つ要素が出てきたと理解してほしい。

- 教員の研修制度の助成金や補助金について教えてほしい。また教育委員会の職員は、教員の質を把握するため、授業公開の際に十分に授業を見る機会を持っているのか。

(回答) →荒川区は「英語教育特区」の指定を受け、教員の英語教育に関しての研修が必要になり、教員が自信を持って指導するために、助成や研修を行っている。教育委員会としては、日頃から教員の状況把握に努めており、授業公開の時期は全ての学校を回っている。また指導主事を 6 名配置し、各学校を担当している。

- 6/9 付の東京新聞に公立学校の学力テストの結果が掲載されていた。その結果を見て、荒川区としてのコメントを教えてほしい。

(回答) →荒川区は習熟度別指導などこつこつと積み上げてきた。東京都が発表したデータは達成率ではなく、平均点である。小学校の結果は 23 区中 9 位、中学校 23 区 20 位であった。小学校は東京 49 市区町村中、小学校は 13 位、中学校は 38 位であり、前回より順位が上がっている。7 月下旬発行の区報に教育特集が掲載されるので、是非見ていただきたい。

- 南千住図書館は荒川区の中で一番すばらしい施設だと思うが、飲食できる設備がない。民間企業に委託するなどの対策はあるのだろうか。

(回答) →中では飲食はできないが、自動販売機は 2F にある。3F にも新しい自動販売機が設置された。

- 図書館は月曜休館だが、子どもは運動会の翌日など月曜日が休みになることが多いので、対応してほしい。

(回答) →8 月第 3・第 4 月曜日は開館しているが、今後、課題として考えていきたい。

- 現時点での学校の統廃合についてお聞きしたい。

(回答) →最近、再開発などでマンションや住宅の建設が活発になっている。今後、人口もどのくらい増えるかわからない状況で学校の統廃合の話をするのは難しい。

- 学校評議員制度があるが、学校の案内で終わってしまう傾向が見られる。区はもっと教育行政について区民に P R する必要があると思う。

- 「ようこそ海外青年協力隊」は年間どのくらいの授業回数になるのか。

(回答) →各学校 1 回 2 時間の授業で、JICA 地球ひろばと連携して海外青年協力隊メンバーからお話を伺う。メンバーの体験談はとても感動的であり、いろいろな問題について視野が広がる。話を伺うことにより、子供たちの視野や夢が広がればよいと思う。

ステップ5 分科会での検討テーマについて考えよう

次回の検討に向けて、話し合いをどういう形で進めるか、委員の意見を伺った。

【主な意見】

- ・ 教育については色々な問題があるが、青少年の非行、犯罪者の低年齢化を問題として取り上げたい。また、教員の人員が足りない状況の中で、地域の協力体制を含めて今後どう対処していくべきかを考えたい。
- ・ 教育基本法を踏まえた荒川区の取り組みに関しても検討テーマに匹敵するのではないか。
- ・ 基本的な挨拶などルールとマナーが教育の基本と考えられ、その事を話し合いたい。

ステップ6 第2回分科会の進め方を考えよう

次回の検討テーマは今回の意見を基に次回までに決めることにした。次回日程は未定。

以上